



社会医療法人 康和会
広報誌

No.

77

地域の皆様の健康と長寿を願って

しらかばの風

SHIRAKABA no KAZE

職員がひとつと
なって最善の
地域医療と介護の
提供に取り組む

2024 年 新年挨拶



INDEX

◆ 社会医療法人 康和会 新年挨拶

社会医療法人康和会 理事長 加藤 康夫
札幌しらかば台病院 院長 後藤 啓

札幌しらかば台篠路病院 院長 伴 紀宏
介護事業所 事業所長 稲葉 明美

◆ 地域行事に参加しました

第11回 健康フェア東月寒
— 札幌しらかば台病院・介護事業所 —

◆ 第24回 康和会研究発表会

2023年11月11日(土)
北海道経済センターにて実施しました

社会医療法人 康和会
理事長 加藤 康夫



あけましておめでとうございます。

現在、「かかりつけ医」制度が議論されています。「かかりつけ医」制度とは、患者様が主治医をはっきりさせるシステムです。地域包括ケアシステムと連動しており、私たちはその役割を果たすべく、近隣の医療機関、施設との連携をさらに強化していきたいと考えています。

また、医療DX(デジタルトランスフォーメーション)が進められています。オンライン資格確認や電子処方箋などが導入されていますが、患者様が有益となるように取り組んでいきます。

さらに、今後も法人として社会貢献に努めていきます。地域においてはイベントへの参加や、啓発、講演活動、道内においては僻地への医師派遣も継続していきます。

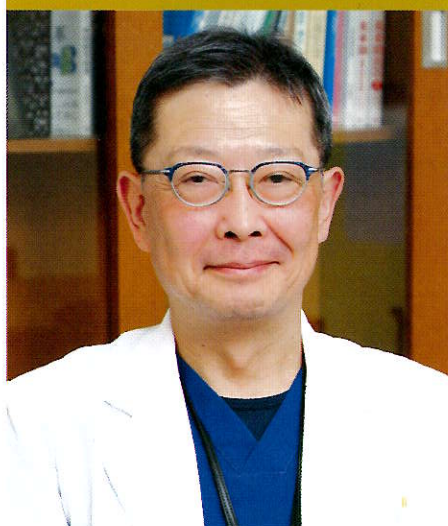
感染症はいまだ猛威をふるっています。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症だけでなく、他の感染症も増加中です。ひきつづき予防接種や基本的な予防対策(手洗い、うがい、マスクの着用)の推進に尽力して参る所存です。特に高齢者の方は抵抗力が弱いので、注意が必要です。

今後とも地域の方々の健康保持増進のため、職員一丸となって努力して参ります。

そして私たちの活動に何かお気づきの点があれば、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

札幌しらかば台病院
院長 後藤 啓



新年あけましておめでとうございます。

昨年4月に院長に就任し、早いもので1年が経とうとしています。この一年間、患者様や地域の皆様から温かい声援と支援をいただき、また近隣の医療機関・介護施設の方々と連携・協力させていただき、より良い医療を安心して提供することができたことに、心から感謝申し上げます。さらに、職員の皆様の尽力と献身にも深く感謝しております。

医療が急速に進歩する中、診療領域の細分化が進んでおります。一方で、超高齢化社会の到来に伴い、全人的医療やかかりつけ医の重要性がますます高まっています。幅広い総合的な医学的・社会的視野を持ち、患者様の多様なニーズに柔軟に応えることが求められています。単に「病気を治療する」だけではなく、「病気を持つ患者様を治療する」という視点が大切であることを実感しています。

院長就任時に掲げた目標は、「診てもらって良かった」「紹介して良かった」「働いて良かった」と言ってもらえる病院です。まだまだ至らない点の多い私たちですが、札幌しらかば台病院は、地域の皆様にとって、信頼できるパートナーでありたいと思っています。皆様の期待に応えられるよう、職員一同、精一杯努力してまいります。

最後に、本年も皆様の健康と幸福を心からお祈り申し上げます。

第24回 康和会研究発表会

当法人では、医療の質向上と事業所間の連携強化を図る取組として、毎年「研究発表会」を開催してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、集合での研究発表会は2020年より中断してきました。昨年11月11日に、北海道経済センターにて集合での研究発表会を4年振りに開催することが決まり、業務と並行しながら研究してきた内容を発表し合うことで、当法人職員の知識向上を図ることができたと思います。今後は、研究発表会で得た知識を業務に活かしてまいります。



札幌しらかば台篠路病院

院長 伴 紀宏

(ばん としひろ)



明けましておめでとうございます。

元氣な職場づくりを行うことは、患者様や職場仲間に優しさをもたらします。これにより、患者様、ご家族や関わる職員との関係性が構築でき、より良い医療サービスの提供に繋がることが期待できます。患者様、ご家族の医療やケアの意思決定に関しては、双方の意思を最大限に尊重することで、当法人の基本理念である、心のこもった医療に近づくことができます。

また、篠路周辺地域との絆を深めていく為には、地域に根差した活動が必要だと考えています。ここ数年は、感染症のこともあって、コミュニケーションを取りづらい社会状況でしたが、これからは、医療者側も日常を取り戻し、今までのように、微力ながら地域に貢献したいと思っています。

今年に関しては、病院目標として、医療人として成長することを掲げています。知識や技能を高め、心にゆとりを持つことで、他者を思いやる気持ちがより芽生え、それがなにより自分自身へ返ってくるサイクルにもなります。さらに、人としても成長できれば、未来の医療への変化や進化にも対応できます。

院長として3年目の年に入ります。特に重点目標として、入院患者様に対して、嚥下機能の改善に積極的に関わり、病院内での活動を強化していく予定です。患者様に口から食べることの楽しさや、喜びを感じていただけるよう精一杯努めてまいります。

皆様にとって健康で充実した一年になりますように、心よりお祈り申し上げます。

介護事業所

事業所長 稲葉 明美



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、事業所活動に重くのしかかっていた新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、苦しい制限生活から徐々に解放され100%とはいかない中でも、入居者様やご家族様の面会・外出等の機会が増え、笑顔も多く見られるようになりました。

入居者様や利用者様のあたりまえの日常が、少しでも豊かで充実したものであるように、「8事業所」が連携し、入居者様や利用者様に寄り添ったサービス提供に努めてまいります。

住宅に住まわれている皆様の安心の一番は、法人内医療機関である札幌しらかば台病院がすぐ近くにあることです。そのメリットを最大限生かし、今以上にスピード感のある対応ができるよう、連携を密に最適な医療へ繋げていきます。

サービス付き高齢者向け住宅しらかばの杜は、今年開業から満10年を迎える節目の年となります。

これからも、地域の皆様に信頼して頂ける事業所を目指して、新たな気持ちで職員と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



会場に各事業所の職員が徐々に集まって来ました。この機会に職場間の情報交換や交流が行われます。



発表者は、研究代表者と共同研究者が務めるケースが殆どですが、単独で発表する猛者もいます。



質疑応答です。多職種が勤務していますので様々な質問が出ます。発表者が最も緊張する瞬間です。頑張れ!

社会医療法人 康和会 地域行事に参加しました

第11回健康フェア東月寒 医療講座（札幌しらかば台病院）

日 時 / 2023年10月7日(土) 講演内容 / 第一部 腸活
会 場 / 東月寒地区センター 第二部 非アルコール性脂肪性肝炎
講演者 / 岩田内科部長

札幌市豊平区東月寒地区町内会連合会と、東月寒福祉のまち推進センターが主催する第11回健康フェア東月寒が、2023年10月7日の午後1時から東月寒地区センターを会場に行われました。

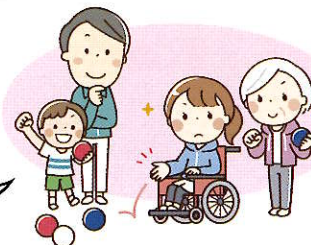
康和会からは、札幌しらかば台病院の岩田内科部長が医療講座講師として参加され、地域医療連携会の看護師と社会福祉士が補助を務めました。

医療講座は二部制で、『腸活』『非アルコール性脂肪性肝炎』について講演を行いました。

聴講者の皆様にはドライバナナと高カカオチョコレートが配られ、岩田先生から「講演の中で種明かしをします」と説明がありました。答えは下の『講演のポイント』をご覧ください。



又、介護事業所の、札幌市豊平区介護予防センター東月寒・福祉のスタッフが、ボッチャ体験コーナーのお手伝いに参加しています。



講演のポイント(腸活)

- 食事は1日3食を規則正しく摂りましょう。
- 過食を避け、バランスよく食べましょう。
- 食物繊維を多く含む食事を摂りましょう。
- ヨーグルトや乳酸菌飲料を摂るのも良いです。
- 水分を十分に摂りましょう。温かい飲み物を多くし、冷たいものの摂りすぎに注意しましょう。
- おやつはドライフルーツがお勧めです。
例えばバナナは、食物繊維のほか、カリウムやマグネシウムも豊富です。
- 便意を我慢しないように気をつけてください。
- 十分な睡眠と適切な運動を心がけましょう。

講演のポイント(非アルコール性脂肪性肝炎)

- 脂肪肝は自覚症状がありません。BMIをチェックしてみましょう。25.0以上は注意が必要です。
- BMIは、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で求めます。
- 非アルコール性脂肪肝の10~20%は肝硬変等を発症します。そのままとはせず、治療に取組むことをお勧めします。
- 脂肪肝の基本的かつ重要な治療法は、食事療法です。糖質・脂質の過剰摂取を避け、良質なたんぱく質とビタミン類を摂取しましょう。高カカオチョコレートやスルフォラファンもお勧めです。
- 食事療法と同時にウォーキングなど、運動療法を取り入れる事も良いでしょう。

基本理念

心のこもった医療
学ぶ心
社会への貢献

基本方針

- 患者さま一人一人の権利を尊重し、最善の医療を展開します。
- 急性期から慢性期、外来・在宅から入院までの一貫した医療を実践します。
- 各医療施設や地域の方々と連携した医療を進めます。
- 広く社会貢献に取り組みます。
- 最新の知識の習得と臨床研究・発表を続けます。
- 健全な経営に努めます。

